平成 27 年度　ＦＤ活動報告

生命環境科学域（応用生命科学類・緑地環境科学類・獣医学類）

１　ＦＤ活動の実施体制、取り組みの概要

- 生命環境科学域では、教員のプレゼンテーション能力を改善するとともに、研究分野の最新の話題を学生等に提供するためにセミナー等を開催している。
- 応用生命科学類では H27 年度には教員が教員および学生を対象とするランチョンセミナーを 4 回実施した。
- 本学外国人招へい教員事業で来日したハワイ大学教員による英語公開授業(植物系統分類学、植物保護学、地域実践演習）(2015 年 11 月 23 日、30 日）に応用生命科学類から計 3 名が参加した。
- 応用生命科学類植物バイオサイエンス課程内では、フィールド実習内容検討 WG や将来計画検討 WG を編成し､H28 年度および 29 年度へ向けてのカリキュラム再編を検討した。
- H25 年度より実施しているコロキウム実施回数は 30 回を超えている。
- 獣医学専攻では学術集談会、オープンセミナー、および国際オープンセミナーを開催している。
- 獣医学類では平成 28 年度から始まる獣医学共用試験対策として、筆記試験（vetCBT）および医療面接（vetOSCE）それぞれの準備と模擬試験（トライアル）を行った。
- 緑地環境科学類では特に以下の活動に注力した。

  (1) 複数の講義科目において、独自の授業アンケートを実施した。

  (2) 実習・演習科目に関わる WG を設置し、実習書の作成／改訂や採点評価方法の検討、実習指導に関する留意点などの検討会を開催した。

  (3)教務委員が中心となって、カリキュラムマップ、ディプロマ・ポリシーについての検討を行った。

  (4)学務検討 WG が主体となって専門の重要性を早期に理解させる必要性を検討し､一部専門科目のカリキュラム変更（コマ割りの変更）を次年度より開始することとした。

２　ピア授業参観実施状況

期間	被参観授業数	参観者数	特記事項
前期			公開授業および英語によるモデル講義（応用生命科学類植物バイサイエンス課程)。
後期	1	2	
年度合計	1	2	

３　ＦＤに関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容（タイトル等）	種別	参加者数
2015. 5.19	「研究公正の推進と責任ある研究者の養成」 講師：中村征樹　氏	FD セミナー	全学で 101 名、生命環境 11 名、

			理学系 12名
2015. 9.2	「あたまの中の評価基準を「みえる化」する方法-ルーブリックを用いたパフォーマンス評価の実践-」	FDセミナー	全学で 28名、生命環境4名、理学系3名
2015. 11.4	「研究公正」科目のグループワーク試行実施	授業の試行	全学で院生 36名教員9名、生命環境院生5名教員1名、理学系院生5名教員2名
7月4日	第1回医療面接摸擬実習	ワークショップ	約40名
10月3日	第2回医療面接摸擬実習	ワークショップ	約40名
11月7日	第3回医療面接摸擬実習	ワークショップ	約40名
12月5日	第4回医療面接摸擬実習	ワークショップ	約40名
2月6日	医療面接トライアル	ワークショップ	約50名
2月10日	vetCBT トライアル	ワークショップ	約50名

４　ＦＤに関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
学域(学部)教育運営委員会	・FD関連事項を含む教務・カリキュラム活動についての相談と連絡・調整。 ・オリエンテーション内容などの相談 ・新入生の受け入れについての行事等 ・前・後期における、授業・カリキュラムの進行状況と成績の把握、指導	６回	12名（研究科長、副研究科長、学域長、各学類・課程教員２名、

	方針の相談など。 ・次年度時間割の作成 ・DP や CP の作成・調整。 ・履修要領の改正。		オブザーバ1名）
学域新入生アドバイザー合同説明会	・（教育推進課の支援の下、）各学類あるいは課程の H27 年度新入生担当のアドバイザーを対象に、カリキュラムオリエンテーションおよび学類オリエンテーション時の注意事項を説明。	1回	6名（応生4名、緑地1名、獣医1名）
応用生命科学類学生アドバイザー教員の打ち合わせ	・前年度の学生アドバイザーから１年生担当学生アドバイザーへの新入生オリエンテーション時におけるカリキュラム説明と履修申請の指導に関する打ち合わせ。 ・各課程の１年生学生アドバイザー間での指導における情報共有。	１回（メール会議は随時）	８名（２回生学生アドバイザー４名と１年生学生アドバイザー４名）
緑地環境科学類実習演習検討 WG	・実習書の改正と実習プログラムの見直し。 ・社会要請に鑑みた内容の変更。 ・実習演習テーマと評価基準の意思統一など。	３回	13 名
応用生命科学類植物バイオサイエンス課程内フィールド実習内容検討 WG	植物バイオサイエンスフィールド実習 A、植物バイオサイエンスフィールド実習 B の実習う内容の検討。	３回	15 名
応用生命科学類植物バイオサイエンス課程内将来計画検討 WG	応用生命科学類内課程編成の検討、ならびにカリキュラムの検討	３回	6 名
医療面接実習準備委員会	獣医学医療面接（vetOSCE）の実施準備および摸擬演習の実施	12 回	17 名
vetCBT 実施委員会	vetCBT の実施準備およびシステム構築	６回	7 名
獣医学専攻学科教育検討委員会	獣医学科・獣医学類の学士教育に関する課題の整理と解決を議論	10 回	8 名

応用生命科学専攻教授会	・課程配属要件の見直しについて ・高等教育推進機構の開講する外国語科目（Academic English）の４クラス間での成績評価について	５回	16 名

５　その他取り組みの具体的実施状況

・　独自の授業アンケートを少なくとも以下の授業で実施。
酵素化学(回答数 55/55 件、回収率 100%)、構造生物学(回答数 52/62 件、回収率 84%)、基礎生化学(回答数 109/112 件、回収率 97%)、生命環境科学入門（98/98 件、回収率 100%)、水理学（47/47 件、100%)、水環境管理学（28/28 件、100%)、植物形態分類学（50/50 件、回収率 100%)、計測工学（55/55 件、回収率 100%)、生産環境システム学（35/35 件、回収率 100%)、都市気候環境学（35/35 件、回収率 100%)、生態環境計測学（35/35 件、回収率 100%)、植物分子生物学（回収率 100%)、植物分子育種学（回収率 100%)、生命と科学の倫理（回収率 100%）

・　全学提供科目である「生命環境科学入門」において、講義終了後「本日の講義について」というタイトルで独自のアンケートを実施した（担当：向本）。（98 名）回収率 100%

平成27年度　ＦＤ活動報告　　生命環境科学研究科

１　ＦＤ活動の実施体制、取り組みの概要

・　大学院教育運営委員会が主体となり、専攻のFD活動を実施している。
・　カリキュラムの見直しを実施し、新設科目についての検討や、現行科目の見直しを行った。

２　ピア授業参観実施状況

期間	被参観授業数	参観者数	特記事項

３　ＦＤに関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容（タイトル等）	種別	参加者数
2015. 5.19	「研究公正の推進と責任ある研究者の養成」 講師：中村征樹　氏	FDセミナー	全学で101名、生命環境11名、理学系12名
2015. 9.2	「あたまの中の評価基準を「みえる化」する方法-ルーブリックを用いたパフォーマンス評価の実践-」	FDセミナー	全学で28名、生命環境4名、理学系3名
2015. 11.4	「研究公正」科目のグループワーク試行実施	授業の試行	全学で院生36名教員9名、生命環境院生5名教員1名、理学系院生5名教員2名
12月2日（水）	有機化学研究会（白鷺セミナー）	講演会	60名
10月23日	iPS細胞の産業応用への展望について	セミナー	24名
11月13日	腸内環境と疾患	セミナー	25名
11月25日	英語プレゼンテーションセミナー	セミナー	5名
12月18日	PET分子プローブ合成化学の魅力：理・工・薬・医の学際研究	セミナー	25名

4 月 13 日	行政との情報交換会	セミナー	4 名
4 月 17 日	建設コンサルタントとの情報交換会	セミナー	4 名
5 月 1 日	建設コンサルタントとの情報交換会	セミナー	3 名
1 月 22 日	行政・建設コンサルタントとの情報交換会	セミナー	9 名
6 月 26 日	中枢神経前駆細胞の新しい機能と形態学的特長の発見	オープンセミナー	30 名
7 月 17 日	ヨーロッパ、ベルギー王国、ワロニア州の獣医学教育の歴史と進化	サイエンスカフェ	30 名
7 月 24 日	The overlooked role of enteropathogenic and shigatoxigenec escherichia coli causing diarrhoea in young calves	国際オープンセミナー	24 名
9 月 16 日	A 型ウェルシュ菌 SM101 株の芽胞関連遺伝子の転写解析	海外留学報告会	25 名
12 月 7 日	NetB toxin and avian necrotic enteritis	国際オープンセミナー	30 名
12 月 10 日	Two component signal transduction systems and the regulation of virulence in *Clostridium perfringens*	大学院講義	15 名
1 月 26 日	Top 10 tips in reconstructive surgery （皮膚再建術のための１０のヒント）	国際オープンセミナー	40 名
3 月 3 日	米国外科研修の道と整形外科の基礎	サイエンスカフェ	27 名

４　ＦＤに関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
応用生命科学専攻内教務会議	学生のキャリアー向上に寄与する講義科目の新設	３回	３名
応用生命科学専攻内教務会議	英語力向上のための講義科目の新設	３回	３名
応用生命科学専攻内教務会議	専攻の FD 活動を企画、実施	20 回	３名
緑地環境科学専攻内教務会議	専攻の FD 活動を企画、実施	５回	２名
研究科教育運営委員会	・FD 関連事項を含む教務・カリキュラム活動についての相談と連絡・調整。 ・オリエンテーション内容などの相談 ・新入生の受け入れについての行事等	11 回	11 名（研究科長、副研究科長、３専攻（7

	・前・後期における、授業・カリキュラムの進行状況と成績の把握、指導方針の相談など。 ・次年度時間割の作成		名)、教育推進課２名)

５　その他取り組みの具体的実施状況
・　香港中文大学からのゲスト教授の Peter Cheng 先生の英語での専門の授業を参観して、英語での授業の仕方を学んだ。

生命環境科学域・生命環境科学部・生命環境科学研究科

FD 活動 28 年度計画

主に以下を実施し，授業改善に活用する予定である。

(1) 各専攻・各学類（または各課程）における FD 関連事項に関する協議

(2) 学域（学部）教育運営員会および研究科教育運営委員会による FD 関連事項に関する協議

(3) カリキュラム改善（新設科目の検討や現行科目の見直しなど）の検討

(4) FD に関する講演会・セミナー（教員のプレゼンテーション能力を改善するとともに、研究分野の最新の話題を学生等に提供するためのセミナー等も含める）への参加

(5) 研究公正に関する教育の充実

(6) ピア授業参観の開催（方法の改善などを検討）

(7) 招聘する海外等からの教員や visiting professor による講演の積極的な実施

（以上）